

**新刊情報**

瀬野克久著 一橋パートナーズ  
法律事務所 弁護士

**船舶融資取引の実務**

**平易・網羅的に書かれた手引書**

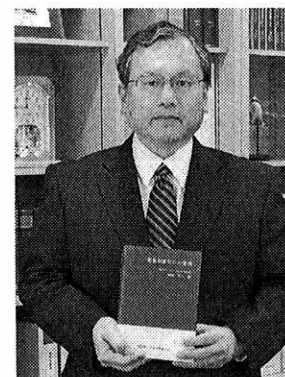
船舶融資関連の取引は金融はもちろん、船舶保険、用船契約、船舶売買など海運経営に直結するものから、担保法、倒産法、会社法など多岐にわたる知識、理解が必要とされる。実務家ごとの論文や実務レポートは数多くあるが、船舶金融取引の全般にわたり網羅的、体系的に書かれている著書は少ない。本書はそうした船舶融資の取引実務に即し、読者に対して各分野の一定の水準、知識を提供する導入書として書かれた。

著者の瀬野克久氏は、弁護士として海運

業界の船舶融資実務に長年携わってきた。特に、弁護士登録後に発生したプラザ合意以降の急激な円高の進展による海運不況に直面。日本の船主、船舶金融はもちろん、海外の船主、金融機関との取引実務に即し、豊富な経験に裏打ちされた船舶金融の取引実務が平易かつ網羅的に紹介されている。

具体的には、前半部分で船舶融資における担保取得方法に関する実務的な解説。後半で造船所、船舶所有者、用船者の信用不安あるいは信用破綻が発生した場合、それぞれの取引関係者はどのような法的な立場になるか、あるいはどのような法的手段をとり得るのかについて実務的に解説する。また、シンガポールの海運特別税制、船舶共有に関する実務上の留意点など今日的な課題も取り上げる。

著者は今回の執筆動機の一つとして、「船舶金融の取引実務は平時や好況期より、む



せの・かつひさ 慶大法卒、84  
(昭和59)年弁護士登録。84-90年  
松尾総合法律事務所、90年一橋総合  
法律事務所パートナー、10年から同  
法律事務所代表弁護士。愛媛県出身。

しろ不況期にその重要性が増す」と指摘している。これは、リーマン・ショック直後の海運業界の混乱ぶりをみても明らかだ。

船舶金融に携わり、また今後、携わる予定の実務家にとって格好の手引書といえるだろう。

▷A5判、412頁、定価5000円(税込み)、  
発行・社団法人日本海運集会所